

令和7年12月18日

報道機関 各位

富山大学附属病院 第一種感染症病床及び
災害・救命センター増築棟の竣工

このたび、富山大学附属病院（病院長：山本善裕）は、第一種感染症病床及び災害・救命センター増築棟を竣工いたしました。

第一種感染症病床は、エボラ出血熱など**一類感染症の患者を受け入れ、早期診断、治療に対応する専用病床**であり、これまで県内では県立中央病院のみにありましたが、富山県感染症予防計画において、新たな感染症の発生やまん延に対応するため感染症対策の一層の充実を図ることとされたことを受け、当院においても新たに整備し、来たる**令和8年1月5日に稼働開始**を予定しています。

また、当院では**将来的な「高度救命救急センター」の指定を見据え、災害・救命センターの機能強化のための増築・改修**も行っており、このたび、そのうち**増築工事が完了し、令和7年12月23日に稼働開始**を予定しています。今後は、令和8年6月にはER改修、令和8年8月にはECU改修が完了予定であり、一連の増築・改修により、地域医療の最後の砦として、救急医療における県・地域への貢献を一層果たしていけるものと確信しています。

つきましては、次のとおり記者会見を行いますので、取材・報道方よりお願いいたします。

■記者会見

1. 日時 令和7年12月22日（月）13：00～（30分程度）（開始30分前より受付）
2. 場所 富山大学杉谷キャンパス 富山大学附属病院（富山市杉谷2630）
総合臨床教育センター2階 多目的研修室
（※記者会見の途中で第一種感染症病床及び災害・救命センターに移動し、施設・設備をご覧ください。）
3. 出席者 山本 善裕（富山大学附属病院院長）
土井 智章（富山大学附属病院災害・救命センター長）

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学附属病院 病院企画課 合林

TEL：076-434-7019 Email：hosoum@adm.u-toyama.ac.jp